

2011.JUL

釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第32号です。

九州はやっと梅雨が明けて、私は常夏宣言したところで
す。「山笠があるけん博多たい！」とおおじょうもんが粋
がってられるのは今だけです。そしてすぐにお盆がきて
いつもの博多に戻ります。

わたしはというと実は今日からアメリカ・ラスベガスへ行っ
て世界最大のフィッシングショー「CAST」に無謀にも出展し
に行ってきます。ですので自分自身はかなりハイな状態で
気合い十分なのですが、家族も廻りも「いいね～。いつも
遊べて、99%遊びでしょ？」とお気楽な言葉をかけてくれ
ます。

まあ……あまり否定できる自信がないのはやっぱり遊び

なんでしょうね。(～__～;)

釣具作るのも遊び、PCに向かってお客様とやりとりするの
も、製造メーカーと打ち合わせするのも、釣りをするのも、
本を読むのも、トレーニングするのも、飲みに行くのも、出
張するのも、みんな遊びといえば遊びで
すし、仕事と言えば仕事ですし。

という話しをするとまた「いいね～。楽し
そうやね～。うらやましいわ～。」「って言
われるし。

なんやねん。って感じです。(～__～;)

あっ。いかんいかん3時間後には飛行機に乗らなくちゃ。



旅暮らし四方山話。(その22)

先月はドイツの旅の話しをさせていただきました
きました。来月はアメリカとメキシコの話
しをさせていただくと思います。そして次
はイタリアです。

家族からは「海外かぶれ」と言われなが
らデベソな行動に廻りの友人もあきれて
います。

ただ、年齢50を超えて初めて悟ったことが
あります。それは「考えれば行動できな
い。」ということです。

逆に言えば「考えなければ行動できる」と
いうことでしょうか。つまり一つのことをす
るために考えすぎて行動に結びつかな
かったということが人生を振り返ってみて
あまりに多すぎなかったかということ
です。海外旅行とまで言わなくても目の前

の小さな事がそうなのです。

飲んべーの私流では、たとえばこう
です。「おい飲みに行こうか?」「そう
やね来週あたりいいね。」「いや今か
らよ」「えっ?今から?」「バカヤロ
ウ来週は来週たい。」「…なんかどう
でもいいような話ですが、真面目に私

は飲むと言ったら「中洲に30分
後に」東京だったら「新宿に20
分後に」という感覚なのです。
逆に誘われたら殆どNoとは言
わず行きます。でも実際には飲
みに行くためにいろんな仕事の
障害が発生します。だから私の
脳みそはフル回転してどうや
たら飲みに行くために目の前
の仕事を片づけるかということに
全精力を費やします。

もちろんちょっとのリスクは伴い
ますが、それくらいのリスクがな
いと力は出せません。

つまり、先にいつ何をするかを
決めると自分の脳はそれに
従って動くということなのです。
私の場合は準備が整ってから
海外出張はありえないこと
です。だから少しばかり問題が起
きます。この問題があるからま

た価値があるとも思っています。

最近若人たちと話す機会が増えた
のですが、このことを話すと一番私との
ギャップを感じているようです。

海外に出て行っても個人で出て行っ
ている日本人は少なくなったようです。下記
の本はそのことを (右上につづく)

大前研一 柳井正
この国を出よ
誰が日本を
ダメにしたのか?
ニコクロはなぜ
世界へ出るのか?
そして、
ビジネスマンと企業は
グローバル社会で
どう戦えば
いいのか?
2大論客が
初めて語り
尽くした
絶頂の
対談

Gear-labは普通の釣具店にはない
新しく夢のある逸品釣具を紹介し続
けます。全国の熱い人たちと共に
本当に良いものを世の中に出すこ
とに真剣であり常識にとられない
商品開発や逸品釣具を求める方と
のみチームを組んでいきます。



ビジネスに落として書かれた素晴らしい本だと思います。失敗を繰り返しながらもしっかりと伸び続けているユニクロの柳井氏と幅広い経済学とビジネスそして遊びも充実している大前氏の話は日本人に是非読んでいただきたい一冊です。二人ともドラッカーの哲学に影響され、それをビジネスに繋げていった巨人です。

現代の若い人たち自身も何かおかしいと感じているのが、私にも感じます。でも漠然としているのも事実です。つまり人生を楽しんでいない人があまりにも多い。なぜか…それを私は若い人たちと話すのですが、それは自分を追い込むような作業です。私自身は彼らのロー

ルモデルになっているか。あんな風になりたいと思われているか。昔と今の違いは単に若い人たちはお酒を誘っても飲みについて行かないというのではなく、尊敬する上司や先輩がいないのではないかということです。

私の時代には尊敬する先輩や上司がいました。話し方や歩き方、服装まで真似しました。お馬鹿な話ですが、では自分はその若い人たちにリスペクトされているかという正直言っても自信がありません。

だから一度飲みに行って、次回また誘ったときに「行きます」と笑顔で言ってくれたら私の勝ちで「用があるから」と言われたら私の負けだと思っています。

若い人達との飲み会は常に修行なのです。

だから遊ばなくてはいけない。行動しなくてはいけない。と思っています。旅は最高の行動だとも思っています。

Cal - Amariを米国でリリース

ICASTで下記の商品を先行リリースします。

そして、メキシコのバハカルフォルニア沖でこの製品を使ってマグロを狙いに行き参ります。

どうぞ期待ください。



Gear-Labがロッドを準備中

玄界灘はヒラマサとブリそして最近ではマグロも良く釣れています。キャストで狙うトップゲームに大物がヒットすると体中の血が沸騰しかねない程です。

そんなときに頼りになるのがロッドです。いかにロッドの力で魚がリフティングできるか。ロッドパワーも大事ですがこの美しいデザインも魅力です。

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092 - 663 - 5196

Fax 092 - 663 - 5102

Mail NQE50210@nifty . Com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(～) 福山克義(ふくやまかつよし) メール NQE50210@nifty.com



お気楽DETCHこと福山でした